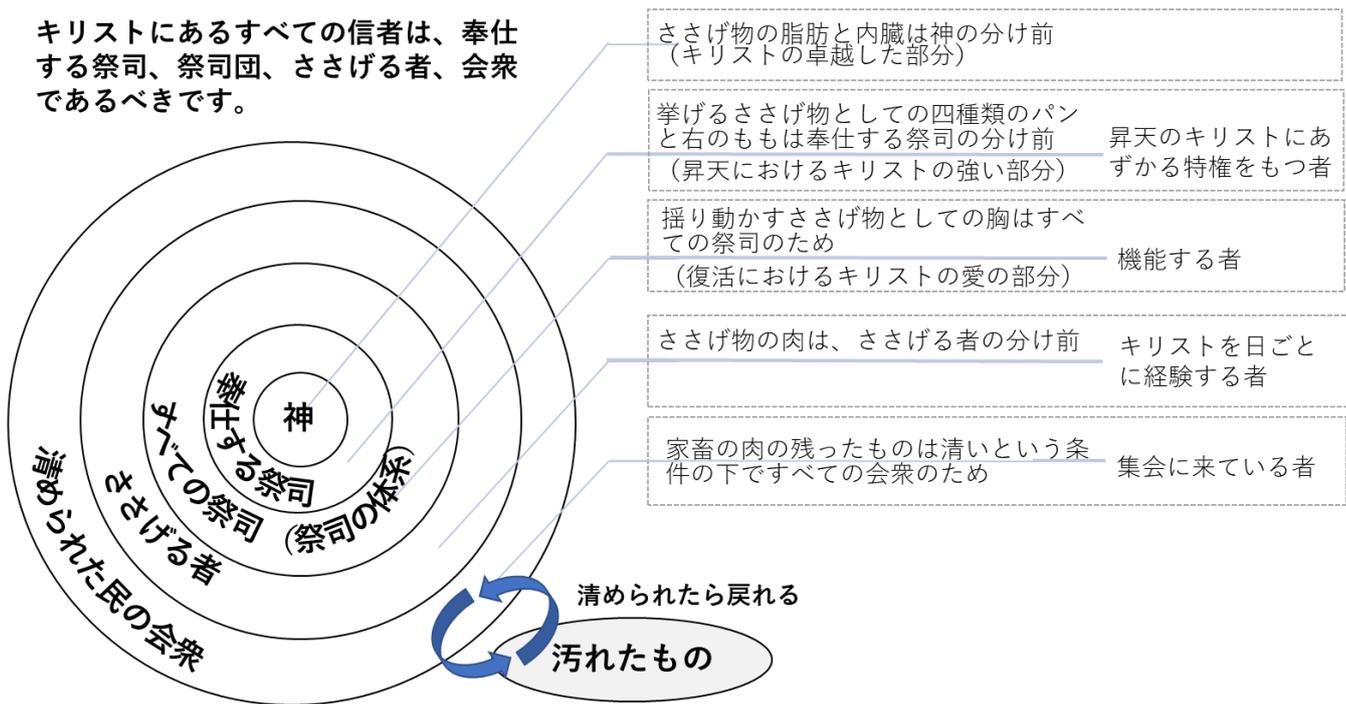


レビ記結晶の学び#12: 主の食卓でキリストを平安のささげ物の実際として享受して、神のエコノミーの全体的な絵を提示する(Summary)

1. 平安のささげ物が表徴するのは、私たちと神との間の平安としてのキリストであり、私たちに交わりと喜びの中で、神と共に、また人と共に神を享受させます。平安のささげ物が成就されるのはおもに、主の食卓でパンをさいて主を記念してキリストを享受することにおいて、またキリストを御父にささげて御父を礼拝することにおいてです。信者たちは、主の食卓でキリストを彼らの平安のささげ物として享受し、神と交わり、また互いに交わります。彼らは父なる神の御前でキリストを享受します。集会の第一区分で、私たちのすべての賛美は、キリストに向けられるべきです。また私たちは、彼のパーソンと働きに関してほめたたえることをもって彼を称賛すべきです。集会の第二区分で、私たちは賛美を父なる神に向けるべきです。
2. **主を記念する一主を中心とする:** パンさきの集会は、主を記念するためです。それは、主を記念することを中心とし、主に享受していただくことです。主のパーソンと働き、主の愛と美徳、主の地上での生活と苦難、主の天における誉れと栄光について語るべきであって、人にこれらのことを思い起こさせ、主ご自身を記念します。
 - a. **主の晩餐を食べる:** この面の重要点は主を記念することです。1コリント 11:23 わたしは主から受けたことを、あなたがたにも伝えました。すなわち、主イエスは裏切られたその夜、パンを取り、24 感謝をささげてから、それをさいて言われました、「これは、あなたがたのために与えるわたしの体である。わたしの記念にこれを行ないなさい」。25 彼らがそれを食べた後、杯も同じようにして、言われました、「この杯は、わたしの血によって立てられた新しい契約である。それを飲むたびに、これを行ない、わたしの記念としなさい」。
 - ① 主を記念する: 主の体を象徴するさかれたパンを見て受けるとき、主が私たちのためにどのように肉体と成り、どのように死なれ、体をさいて分け与え、私たちに彼の命を得させたかを思い起こすべきです。また、十字架上で流された血を象徴する杯を見て受けるとき、主がどのように私たちに代わって裁きと呪いを受けて血を流し、贖い、罪の赦し、聖別、義認、和解を得させ、永遠の祝福の分け前を得させたかを思い起こすべきです。
 - ② 主を享受する: さらに主と主が成してくださった一切のことを思い起こすだけでなく、食べ、飲み、享受することが真に主を記念することです。パンをさいて食べ、主を飲む時、私たちは主と結合され、ミングリングされ、毎日彼を命、命の供給として生きることを宣言します。
 - ③ 主の死を展覧する: 主ご自身を記念すると同時に、主の死を展覧して、自分自身に、また天使たち、すべての被造物にも見せるのです。体と血の分離は、死を示しているのです、パンをさいて杯から飲み、主を記念する時、主の死を展覧しているのです。私たちはこれを主が来られるのを待つ霊と雰囲気の中で行います。
 - b. **主の食卓:** この面で重要なのは聖徒たちとの交わりです。1コリント 10:16 わたしたちが祝福する祝福の杯、それはキリストの血の交わりではありませんか？わたしたちがさくパン、それはキリストの体の交わりではありませんか？17 一つパンであるからには、わたしたちは数が多くても一つからだなのです。それは、わたしたちがみなこの一つパンにあずかるからです。21 あなたがたは、主の杯と悪鬼どもの杯の両方を飲むことはできません。主の食卓と悪鬼どもの食卓の両方にあずかることはできません。私たちは一つのパンから食べ、一つの杯から飲みます。これには相互の交わりの意味があります。私たちがこの交わりを持つことができるのは、主の体と主の血のゆえです。主の晩餐の面で、パンは主の個人の体が私たちのために与えられたことを示しますが、主の食卓に着く面では、このパンは、主が死と復活を通して生み出した再生されたすべての聖徒を、彼の団体の、奥義的からだに構成することを示します。すべての聖徒と共に彼の奥義的からだの中で交わりを持ち、奥義的からだの一を証します。
3. **父を礼拝する:** 私たちはまず主を受け入れ、記念し、それから御父に近づき、礼拝します。パンをさいて主を記念したのち、長子としての主に導かれて御父を礼拝する部分に来るとき、すべての祈り、詩歌、言葉はみな御父に向けられるべきです。御父に向かって歌う賛美はすべて、長子としての主が、神の多くの子たちとしての私たちの内側で導いて、御父に賛美を歌われるのです。ヘブル 2:12 「私はあなたの御名を私の兄弟たちに言い表し、召会のただ中で、私は賛美の歌をあなたに歌います」と言われるのです。
4. 平安のささげ物としてのキリストは、五つの当事者の交わりと享受のためです。



経験①:さまざまな種類の平安のささげ物の大きさの違いは、キリストの経験の大きさの違いである

平安のささげ物にさまざまな種類があるという事実は、キリストによるのではなく、ささげる者がキリストを享受したさまざまな状態によります。ときどき私たちは大きなキリストを享受します。別の時には何かが起こり、おそらく家庭生活における混乱であって、キリストを享受することを制限します。これは、キリストがより小さくなったことを意味するものではありません。それは、私たちがキリストを享受することが狭く小さくなった状態を意味します。サタンは、私たちがキリストを享受するのを制限し、キリストを享受している状態を狭めることを求めています。ですから、私たちはすべての状況に打ち勝つことを学ばなければなりません。妨害を避けるために「密室」で祈ることでさえそうです。それは、私たちがさらに良く、さらに高い状態にいて、さらに大きなキリストを享受するためです。

今日私たちは、この地上でキリストを享受することができます。天に行きキリストを享受することを待ってはなりません。キリストを地上で、あなたが今日いる所で享受してください。遠くの水は私たちの渴きをいやすことができないということわざがあります。もしキリストが天におられるだけであるなら、私たちと何の関係もないでしょう。今日私たちはキリストを地上で、私たちがいる場所で享受しています。

中高生編

平安のささげ物にはさまざまな種類があります。雄の牛、雌の牛、小羊、やぎです。これらはささげる人のキリストに対する享受には大きさの違いがあることを示しています。ここでの経験において重要な要点は次の二つです。

- i. 新人の兄弟姉妹のキリストの経験や、霊的に弱った時のキリストの経験は比較的小さなもので、雄牛ではなく、雌牛ですらありません。しかしそれらは平安のささげ物となることができます。これはあなたが命の成長の度量や霊的命の状況にしたがってキリストを経験することができます、これらの経験は尊く、神によって受け入れられるということです。あなたは自分の経験が小さいからと言ってそれを軽んじてはいけません。また弱い兄弟姉妹の経験が小さいからと言ってそれを軽んじてはいけません。小さな平安のささげ物を持ってくる人を大いに励ますべきです。なぜならそれらは神によって受け入れられるからです。例えばあなたは成績が下位の方でしたが、主と共に勉強して、中の下くらいまで上がりました。しかし他の兄弟姉妹は優等生なので、あなたは比較すると恥ずかしくなり、自分の経験があまりにも小さいので神にささげることができないと考えました。しかしこのような考え方は人の天然の考えであり、神の考えではありません。あなたは人と比較するのではなく、単純に自分が経験したキリストを携えてきて集会でそれをささげるべきです。
- ii. あなたはキリストを追い求めてより大きなキリストを経験するようになる必要があります。クリスチャンとしてあなたは徐々に成長しなければなりません。例えばあなたは釣りに行きました。最初は小さい魚を釣って喜んでそれを持ち帰りました。しかし何度も魚釣りに行っていると、徐々にもっと大きな魚を釣りたいくなり、釣りの上手い人から技能や秘訣をよく学び、10 cmの魚から20 cmの魚へ、さらに30 cm以上の魚を釣ることができるように前進します。キリストの経験には度量があるので、あなたは毎週毎週キリストを経験し、徐々に大きいキリストを獲得することを追い求めてください。例えばあなたは神があなたを愛しておられることを経験し、そのことを集会で証しました。兄弟姉妹は皆大声でアーメンと言ひ、喜んでくれました。しかし何週間か経過後、あなたの神があなたを愛しているだけでなく、世の人、罪人も愛しておられることに気づきました。そこであなたは友人たちに福音を伝えるべきであると感じ、彼らのために兄弟姉妹と共に祈り、彼らと接触して福音を伝えました。この時点で神の愛はあなたに届いただけでなく、あなたから友人に流れています。この経験は前述の経験よりもさらに前進しています。さらに進んで、あなたはあなたを通して救われた新人や召会生活の中で救われた新人を助けて、主の愛に触れさせるだけでなく、彼らと一緒に新人の友人に福音を伝えます。そしてあなたが以前行ったことと同じことを彼らにも行ってもらえるように彼らを助け成就します。キリストのからだは、直接自分が機能して建造する面と、他の人を成就して間接的に建造する面が必ず必要になります。それはすべての人が機能するためです。このような経験はさらに大きなキリストの経験であるということが出来ます。

経験②:神の平安は、神の満足に基づいており、また毎日イエスを食べた結果である

平安のささげ物は、全焼のささげ物に対する神の満足に基づいています。今日、神と私たちが享受する平安のささげ物は、キリストが全焼のささげ物であることに基づいています。これは、レビ記第3章5節と第6章12節によって示されています。平安のささげ物について、第3章5節は言います、「アロンの子たちはそれを祭壇の上で、火の上の薪(たきぎ)の上にある全焼のささげ物に加え、焼いて煙を立ち上らせなければならぬ、それは火によるささげ物、エホバを満足させるかおりである」。ここで私たちは、全焼のささげ物が、平安のささげ物が神に受け入れられるための基礎であることを見ます。全焼のささげ物を焼くことを基礎として、神は平安のささげ物を受け入れます。

平安のささげ物は一方で、全焼のささげ物に基づいています。もう一方で、平安のささげ物は穀物のささげ物を享受した結果です。これは教理ではなく経験の事柄です。私たちは朝、祈るかもしれませんが、「父なる神よ、私はあなたの御子を愛します。私は彼をあなたにささげたいのです」。私たちはキリストをとて甘く享受し、このキリストを神にささげて神を幸いにします。これはキリストを全焼のささげ物として神に献げることです。キリストを全焼のささげ物として神に献げた後、私たちはこう言うかもしれません、「おお、主よ、あなたは私の日ごとの供給です。あなたなしに、私は生きることができません」。これはキリストを穀物のささげ物とし、命の供給とすることです。「穀物のささげ物」は、「命の供給」に対する専門用語です。私たちはキリストを全焼のささげ物また穀物のささげ物とすると、平安を持ちます。私たちは内側に、喜ばしい感覚、私たちが神に対して正しく、神に受け入れられているという感覚を持ちます。少し前、あなたは問題があって、神に対して平安がありませんでしたが、今や何の問題もなく、平安です。これはキリストを平安のささげ物として享受することです。私たちはみな毎日この経験と享受を持つことができます。

在職青年編

平安のささげ物は、全焼のささげ物に対する神の満足に基づいています。また平安のささげ物は、神と人の穀物のささげ物に対する享受の結果です。あなたは実際的に、日ごとに平安としてのキリストを享受しようとするなら、まず彼をあなたの全焼のささげ物として取って神を満足させなければならず、次に穀物のささげ物としての彼を食べて、あなたの食物としての彼を享受しなければなりません。ビジネス・パーソンは、真に神の平安が心と思考を護衛して下さることを必要としています。神の平安を得るためには二つのことが必要です。

- i. 絶対的に神のために生きる:ビジネス・ライフを自分のポケットに入れて、自分のためのものとしてはいけません。このようにすると神の平安を得ることはできません。平安のささげ物の根拠は、人が神のために絶対的に生きて、神が満足するということです。あなたは一見して未信者と同じように働きます。しかし彼らの働く動機は自分のためですが、私たちの働く動機は神のため、神の証しのためです。サタンはあなたを攻撃してきて、「そんな難しいことを言っても結局働かなければ負けてしまいますよ」と言って、あなたがキリストから離れて自分に頼り、自分のために働くように誘惑します。あなたは決してサタンの提案を受け入れてはいけません。また、サタンの提案を考慮して、サタンと会話してもはいけません。自分のために働く人は暗闇の中にいるので、純粋にプロジェクトを推進することに集中することができます。自分のためになるかどうかという焦点とプロジェクトを推進するという焦点の両方があるので、結局見えなくなってしまうからです。
- ii. イエスを食べる:人の第二番目の問題は、人の人間性がバランスが悪いということです。会社での業務を遂行することであれ、召会での奉仕をすることであれ、あなたは自分のアンバランスな人性に頼ることはできません。穀物のささげ物であるイエスの豊かな人性を食べ、イエスの人性をもって業務を遂行し、奉仕をしてください。そうすればあなたの個性から来る弱さや欠点は徐々に飲み尽くされます。イエスを毎日食べる人は、優れたビジネス・パーソンとなり、召会においても優れた奉仕者になることができます。神の平安は全焼のささげ物を根拠に、穀物のささげ物の享受の結果としてあなたにやってきます。ハレルヤ!

178 主を賛美する—彼を記念する

1. この宴せきのゆえ、
主よ感謝します；
ご自身をエンジョイする
こよなき宴せき。
御身を捨て、われらに
分けあたえしパンと、
血をながし、われらに
飲ませるさかずき。
復) 見よ、宴せきを！
何というるし！
ふかき意義を、
だれ 知り得るや！
2. あがないの死にて
いのちをたまひ、
ご自身をあたえて
わがぶんとす。
パンさかずき、あずかり、
主の死、告げ知らせ、
ご自身を食べ飲みし、
永えんに記念する。
3. おく義なるからだ
しめすパンにより、
肢たいとまじわり、
いちをあかしす。
いましゆくふくするは、
せいなるさかずき；
血によりてすべての
せい徒とまじわる。
4. とわの分なる主を
いまあじ見する；
王こく待ちのぞみ、
さい臨うながす。
王こくあらわるとき、
勝利者たちともに、
ご自身にあずかりて
はなよめとならん。

178 讚美主—对祂的纪念

1. 为这筵席我献感谢，
饼、杯在此同陈列；
藉此享受你的自己，
神圣爱筵何超绝。
这饼是你所舍身体，
我们在此同分享；
这杯是你所流宝血，
我们在此同饮尝。
副) 看，这神圣筵席！
其上何等表记！
意义深厚，永垂不朽，
人知何能及！
2. 藉着你的救贖之死，
你将生命来分賜；
你将自己给了我们，
要我有分你所是。
藉着分享这饼、这杯，
我们陈列你的死；
在此吃喝你的自己，
如此纪念到永世。
3. 这饼在此也是指明
你那奥秘的身体；
藉此与众肢体交通，
见证身体的合一。
这杯也是神圣福杯，
我们现在所祝福；
藉着你血我们交通，
与你所有的圣徒。
4. 你是我们永远的分，
在此预尝何有福；
我们等候你的国度，
你的显现我催促。
当你显现在你国度，
同着得胜的圣徒，
重新享受你的自己，
作你心爱的新妇。

221 Praise of the Lord - Remembrance of Him

1. Lord, we thank Thee for the table,
With the bread and with the wine;
At this table we enjoy Thee
As the feast of love divine.
We partake the bread, the emblem
Of Thy body giv'n for us;
And we share the wine, the symbol
Of Thy blood Thou shedd'st for us.
Chorus) Lo, the holy table!
With the sacred symbols;
Its significance in figure
Is unsearchable!
2. By the death of Thy redemption,
That Thy life Thou may impart,
E'en Thyself to us Thou gavest
That we share in all Thou art.
By the bread and wine partaking,
We Thy death display and prove;
Eating, drinking of Thyself, Lord,
We remember Thee with love.
3. By this bread which signifieth
Thy one body mystical,
We commune with all Thy members
In one bond identical.
By this holy cup of blessing,
Cup of wine which now we bless,
Of Thy blood we have communion
With all those who faith possess.
4. Thou art our eternal portion,
Here we take a sweet foretaste;
We are waiting for Thy kingdom,
And Thy coming now we haste.
At Thy coming, in Thy kingdom,
With all saints that overcome,
We anew will feast upon Thee
And Thy loving Bride become.

181 主を賛美する—彼を記念する

1. パンとさかずきにて、
なが死を展覽し、
あいのわざおもい、
死の価値を見る。
パン、さかずきの分離は、
なが死をあらわす、
こころと霊とくちは、
かんどうし、うたう。
復) なれは苦はい、
われしゆくはい！
ながあいのわざを、
とわにほむ！
2. わがため血ながし、
かみにもたらず、
そはわれらつねに、
御かお見るため。
かみの義、聖、栄ごうの
ようきゆうを満たす、
死のこうせきにより
かみとまじわります。
3. 死によりまく裂け、
至せい所ひらき、
へだてはのぞかれ、
めぐみの御座へ、
あわれみ、めぐみ受け、
てき時のたすけ得、
生けるみずを飲み、
なれの豊富に飽く。
4. われらをあがない、
さい司と成して、
かみをきょう受させ、
ほう仕をさせる。
このしゆくふく、めぐみ、
なが死により受け、
あらたに飲む日まで、
絶えず記ねんする。

181 赞美主—对祂的纪念

1. 哦主耶稣，藉着饼杯，
我们陈列你的死；
温习你爱所作所为，
珍赏你死的价值。
饼杯分列，身血分开，
表明你死已成就；
我心感戴，我灵敬拜，
我口向你献歌讴。
副) 你尝死亡苦味，
我饮救恩福杯！
你爱所作所为，
配得永远赞美！
2. 你爱叫你为我流血，
为要引我到神前；
使我与神不再隔绝，
随时得见神圣面。
神的荣耀、圣洁、公义，
所有要求已满足；
我能藉着你死功绩，
坦然与神来接触。
3. 你死已将幔子裂开，
为我打通至圣所，
除去我与神的阻碍，
使我能到施恩座，
得神怜恤，蒙神恩惠，
作我应时的帮助，
如同饮到生命活水，
饱尝神性的丰富。
4. 你既如此将我赎回，
就使我能作祭司，
得享神的一切甘美，
常在神前供圣职。
如此福气、如此恩典，
全都由于你受死；
我愿不断如此纪念，
直到喝新的日子。

227 The Praise of the Lord - Remembrance of Him

1. Through the bread and cup, Lord Jesus,
We Thy death exhibit here;
What Thy love has done reviewing,
All Thy suffering we revere.
Bread and cup in separation,
Show that Thou thru death hast gone;
Grateful now, our spirit worships,
And to Thee we give our song.
Chorus) Thine the cup of suffering,
Mine the cup of blessing;
For Thy love in Thy redemption,
Praise we ever sing!
2. Thou, in love, hast shed Thy blood, Lord,
Bringing us to God in grace,
That from God, no longer severed,
We may ever see His face.
All God's righteousness and glory
Have been fully satisfied;
Thru Thy death's abundant merit
We may now with God abide.
3. By Thy death the veil was riven,
Opened was the holiest place,
All the barriers have been broken;
We approach the throne of grace,
There receiving grace and mercy,
Thus the timely need to meet,
Drinking as of living water,
Tasting God Himself replete.
4. Thou in grace hast so redeemed us,
We the priests may be fore'er
To fulfill that holy office,
All God's sweetness thus to share.
Such a blessing, such a mercy,
From Thy death for us ensue;
We would ever Thee remember
Till with Thee we drink anew.